

talk! talk! talk! デイリーポータルZ、ウェブマスター・林雄司さん



デイリーポータルZ、ウェブマスター 林雄司さん

「Webやぎの目」が話題となり「デイリーポータルZ」でセンスを発揮、1日10万ヒットを記録する大人気サイトを作り上げた林雄司さん。知る人ぞ知るネット界のカリスマである。“写真が無いと成り立たない”というサイト作りの秘訣を探り、写真を楽しむ方法をおうかがいしたい。そんな思いでお話をうかがっているうちに、だんだんと林さんの世界に魅了されてしまい……。笑っぱなしのインタビューとなった今回。ぜひ、林さんならではの世界観を味わいながら、新たな写真の楽しみ方を発見していただきたい。

プロフィール

はやし・ゆうじ。1971年、東京生まれ。ニフティ株式会社勤務。林さんが運営するサイト「Webやぎの目」で「死ぬかと思った」「東京トイレマップ」などのコンテンツを制作し大人気。その後書籍化もされ、ネットの世界から本を出版した先駆けの作家となる。2002年にニフティ・デイリーポータルZを立ち上げ、以来ウェブマスターとして執筆、イラスト制作、事務などを行っている。おもな著書に「やぎの目日記」、「おとなの自由研究」、「死ぬかと思った1～6巻」（すべてアスペクト）など。「デイリーポータルZ」では、役に立つ、立たないに関係なく、ライター陣の興味のままに突き詰めて書く、体当たりコラムを掲載している。“興味はあっても実際にはやらない”ようなことをやってしまう、その視点や面白さが人気の秘密。

発売日当日にはりきって買ったD70 最初に覚えたのは“見た目”と“猫の近づき方”

林さんはD70をご愛用くださっているそうですね。

はい。一眼レフのデジタルカメラが欲しくて、D70がいいぞというのを聞いて発売日当日に買いました。

発売日に？ カメラ好きなんですか？

いや、好きってほどではないですね。……と言ってもはマズいのかな……。

いえ（笑）。なぜD70を買おうと思われたのかが知りたいなと思まして。

僕がカメラを持つようになったのはデジタルカメラからなんです。10年前くらいにコンパクトのデジタルカメラが出始めたころに買って、それからずっと買い換えながら使っていました。でもデイリーポータルZの取材の時に、コンパクトカメラを持って行くのがなんだか唾づぼいというか、取材らしくないなあというも思っていて、それでそろそろ一眼レフを買ってみようと思ったんです。それでまあ、どうせ買うならはりきって発売日に買ってみようかなと思まして。

では、デイリーポータルZのために、という。

そうですね。でも買ったときは嬉しくて、デイリーポータルZで写真の撮り方を習おうという企画を立てたくらいです。八二（にははじめ）さんというフォトグラファーさんに習うため大阪まで行ってきました。それで、まずは形から入ろうと思いいい感じになったんですが。カメラを首からかけると素人っぽいので肩からかけた方がいいと言われました。首からはアウトなんです。

なるほど（笑）。見た目はこれでバッチリですね。では、写真の撮り方もバッチリ教えていただいたわけですね。

撮り方は、八二さんに聞いたら技術は全部カメラまかせにしていとのことでした。あとは猫の近づき方を教わりまして……。

え？ 猫の近づき方ですか？

八二さんは猫の写真を撮っていらっしゃる方で、猫を中心にしたペットの撮り方の講座など聞いていらっしゃるんですよ。それで、猫を撮るときは目を見ないで、興味のないふりをして近づくといいことを教わりまして。

なるほど（笑）。



これくらいが上手に見えるらしい

デイリーポータルZは 教育テレビを目指している!?

デイリーポータルZは写真を効果的に使われているサイトですよ。

そうですね。デイリーポータルZの読者はたぶん、最初に写真とそのキャプションを見て、面白そうだったら本文を読むという見方をしているのだと思うんです。だから写真だけでも全体のおおまかな流れが分かるように気をつけて作っています。それでライター自身がナビゲーターみたいな感じで写真に写っていることが多いんですよ。僕もよく写っています。

確かに、主人公がいてそのストーリーを見ているような、マンガを見ているような感覚がありますね。

ああ、確かにマンガの要素が強いかもかもしれません。僕も子供のころからマンガを描くのが好きだったんですよ。デイリーポータルZも写真ありきと言いますか、まず写真を選んでから文章を書いていくんです。

見ていて思わず笑ってしまう記事がたくさんありますが、このサイトは笑わせようという意識で作られているんですか？

いや、逆ですね。実は笑わせないように、面白さは無くそうと思って作っているんですよ。もちろん面白い方がいいんですけど、面白いことをしようと狙って作ってしまうと、熱いおでんを食べるとか、バンジージャンプをしてみるとか、そういうテレビ的な方向に行ってしまうんですよ。それをここ



です。気はないんです。
あの、僕としては、デイリーポータルZは教育テレビのイメージなんです。ちょっと面白い教育テレビを目指して作っているんです。あとはケーブルテレビなどで見れるディスカバリーチャンネルというのがあって、あのつもりで作っています。

自然科学や最新技術、歴史などをひも解くドキュメンタリー番組を流しているチャンネルですね……。かなり大きなイメージですね。

ええ。日常のディスカバリーなんです。ライターには本当に興味のあることを書いてくださいとお願いしています。面白くしたいから興味がないのにパンジャンプしてみるとか、今流行っているからやってみるとか、そういうことは一切無しにしましょうと。たぶん言わなくても面白くしようっていうのはみんな根底にあると思うので、そういうテイストにはなっていると思うんですけどね。

ライターのみなさん、本気で楽しんでいらっしゃいますよね。たぶん、その本気が見ていて面白いのだと思います。

興味のあることをやっているわけですから、楽しいはずですよ。興味のないテーマをうっかり選んでしまうと、楽しくないですよ、全然。

林さんが描いているデイリーポータルZのキャラクター「Zくん」。
今回特別に、カメラを構えているところが見たい！とお願いし描いていただきました。
「ニコインタビュー版Zくん」



「大きなタバコ」「エアギター」「ピエロ」林さんの思い出深い記事を一挙に紹介

これまでに取り上げたテーマで、印象に残っているテーマはどのようなものですか？

タバコって、大きさの比較対象として並べて写真に撮ったりしますよね。だから、大きなタバコを作ったら周囲のものが小さくなったように錯覚して見えるのかなと思ったのが、この「でかいタバコの箱」という企画です。並んで写真に撮ったら自分がミニチュアに見えるかと思って早速撮ったんですが、見えません。ただのでかいタバコの箱でした。



サイズの比較にタバコの箱が使われるが、その箱を大きくしてみた



まわりのものが小さく見えるかと思ったけど、ただのでかいタバコの箱だった



ハトは小さく見える。もともと小さいけど

このタバコの箱は作ったんですか？

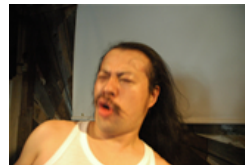
はい、それが意外と大変でした。パッケージをカラーコピーで拡大したら画像がボアボアになってしまったので、パソコンに取り込みトレースしてデータを作ったんです。出来上がるまで2日くらいかかりましたね。これは達成感がありましたよ。企画の意図的には失敗しましたが、「でかいタバコの箱」を作ったということで満足しています。あとはこの、「エアギター入門」。エアギターは、ギターをもっているふりをするとパフォーマンスなんです。宮城さんというエアギタリストの方が、エアギターをやっているところを撮影したものがこれなんですけど……。



知人がエアギターをするようす



この知人、宮城さんはふだんは静かでおとなしい人です



連写したらこんな表情が撮れていてびっくりした

これはまた躍動感溢れる……（笑）。すごい写真ですね。ええ、ちょっとした衝撃写真ですよ（笑）。D70に連写機能があってよかったなと思いました。撮っているときはそんなに面白いと思わなかったんですけど、家でデータを改めて見てみたらこんな顔が出てきて、「なんなんだこの面白さは！」ってなった写真です。何度見ても面白いんですよ、この写真。写真がここまで面白い場合は文章は押さえぎりに、固めに書くのがコツです。

（笑）本当に見れば見るほど強烈ですね。あの、もう1枚気になっている写真があるんですが、このピエロは？

僕です。これはわりと面白いことをしようという主旨の、いけない企画なんですけど思い出に残っていて。ピエロは人気者でいつでも何かしてくれるものだけど、何もしない、愛想のないピエロがいたらおかしいなと思ったんです。子供が寄って来ても携帯見たりしていたらどうかなって。それで、ピエロの格好をして渋谷に行ってきました。でも見ていただくとわかると思うんですが、恐いんですよ、このピエロ。愛想をふりまく以前に、誰も寄って来ませんでした。

いや、これもまたすごい写真ですね。恥ずかしくはありませんでしたか？

恥ずかしくかったですよ。意外だったのが、誰も反応すらしてくれないんですよ。僕を見て笑うとか怖がるとか、声をかけてきたりするのかわからないんですけど、見てくれませんでしたね。そこに存在していないかのように素通り。今この写真を見ると、目がおびえているのがよく分かります（笑）。



この写真を本人に見せたら怒るかと思ったら喜んでた



なにもしないピエロという矛盾を体現するためにピエロになってみた



ピエロなのに普通に電車で移動する面白さを狙ったが超恥ずかしくった



渋谷にて。恥ずかしさのあまり目がちゃんと開いてない

そこにあるのに見ていないもの 注目されていないものが好き

この「写真週刊誌風に撮ろう」というのは、写真の機能からできた企画ですね。ISO感度を下げるとザラっとした感じに写りますよね。それが「写真週刊誌」の写真っぽいなと思って思いついたんです。画像加工ソフトを使ってツブツブが出るように加工して「写真週刊誌」っぽい写真を作ってみようという企画です。



写真週刊誌風に加工した写真。芸能人に見える、と思う



深夜のように見えるが8時ぐらい



粗くした上にぶれたら怒っているように見える

「大きな箱を持って」は魚眼レンズを使って撮影しているんですよ。でも、お気づきかと思いますが、このテーマを魚眼レンズで撮っても特に意味がないんですよ。ただ魚眼レンズで撮りたかったっていうだけの企画です。でも思ったんですけど、逆に魚眼レンズで撮らなきゃいけないものってあるんでしょうかね？



魚眼レンズを買ったのが嬉しくて、一時期ずっと魚眼で撮っていた。なんとなく魚眼でとるとそれっぽくなるような気がする

おおきく歪んだ、ディフォルメした画を楽しむものですから、基本的には何でもいいと思います。たとえば高層ビル群を撮ってみたり、最近見る鼻の大きな犬の写真は魚眼レンズを使っていますよね。

ああ、鼻の大きな犬の写真ありますね。あれは魚眼レンズですよ。……思い出しました。僕は魚眼レンズでああいうのをやりたかったんです。たとえば「鼻の大きなおじさん」とか興味ありますね。

(笑) あはははは、ちょっと見てみたいですね。林さんの、そういった面白いアイデアはどんなところから思いつくのですか？うーん、普段歩いているときに、何か興味のあることを探したりしているのかもしれないですね。何か気になるものがあると、写真に撮っておいたりしますよ。

では、カメラはいつも持ち歩いていますか？

そうですね。基本的にカメラはいつも持ち歩いていて、毎日なにかしら撮っていますね。取材だったりネタ探しだったり、結局全部仕事の写真ですが。逆にカメラがないと不安になるかもしれません。ここで撮っておけばよかったのということになったら嫌だなあと。

林さんの気になるもの、興味の対象とはどんなものなのですか？

そこにあるのに無いことになっているもの、案外見てないものや注目されていないものは面白いと思いますね。駅で酔っばらって寝ているおじさんとか、みんな素通りですよ。あと、ハトをずっと撮っています。

ハトの写真を撮っているのですか？

ええ、各所のハトを。つまらない動物だなあと感じて (笑)。どこを見ているのかわからないし、色もグレーのまだらで可愛くないし……結構みんな素通りですよ。あと、ガスタンクを撮っていたこともあります。不思議ですよ、あんな異質なものが日常の風景として受け入れられているのがすごいなと思って、見つけたら撮っていました。

街角で、居酒屋で、歯磨き粉の成分表示で カメラ片手に日常をディスカバリー

そういうものを写真に撮ってコレクションしているんですか？

ええ、たとえつまらないものでも集めてみると面白いんですよ。たとえば居酒屋のお通しとか、座敷のある居酒屋に置いてあるサンダルなんかも撮りました。ありますよね、トイレに行くときに履いていくやつです。

(笑) ありますね！ さすがにそれに注目したことはないです。

そうですね。まさに、そこにあるのに見ていなかったもの。あのサンダル面白いんですよ。どうでもいい雰囲気が出ている、どこで買ったのか「Sportsman (スポーツマン)」とか変な英語が書いてあるんです。「Elegant (エレガント)」とか、「Dandy (ダンディー)」とか、結構笑えますよ。発見したとき、こいつはイイって思いました (笑)。

あの、個人的な話なんですけど、歯磨き粉の成分表示を見るのが好きなんです。食品添加物を使っているものとか、不思議な名前のものがたくさん書いてあるのが面白くて。それはコレクションになりますか？

あ、それは面白いと思います。僕も好きですよ。「黄色5号」とか意味がわからないものが書いてあるんですよ。前にドレッシングの成分表示を見たら、「グアー」と「ホエー」って並んで書いてあって笑いましたね。グアーとホエーで出来ているドレッシング (笑)。

あと、電化製品の取り扱い説明書に書いてある注意書きも面白いんですよ。こたつの注意書きなんて、こういう使い方はしないでくださいってこたつをひっくり返して使っている絵が書いてあったりする (笑)。探せばいろいろありますね。

なるほど、これが日常のディスカバリーなんですね。よく分かりました。

そうですね。それで、そのディスカバリーのためにはカメラは必需品なんです、ということです (笑)。

今後ぜひ、D70で日常に潜む気になるものを発見して、私たちを楽しませてください。



[> コンテンツトップへ戻る](#)

※掲載している情報は、コンテンツ公開当時のものです。

